

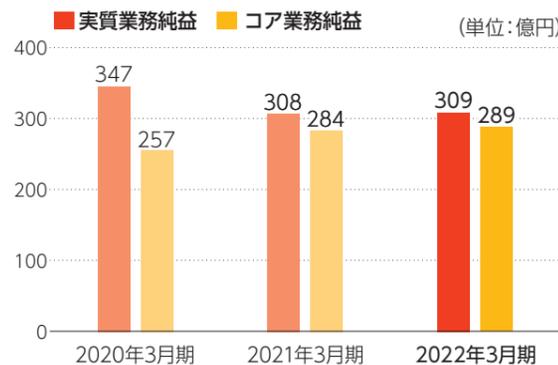
業績ハイライト

◆ 主要な経営指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	前期比
連結経常収益*	1,526	1,513	▲12
連結経常利益	321	380	58
親会社株主に帰属する当期純利益	223	266	42

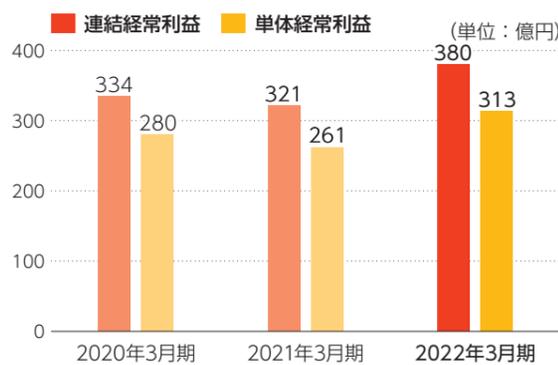
	2021年3月期	2022年3月期	前期比
経常収益*	1,115	1,119	3
業務純益*	303	328	24
経常利益	261	313	52
当期純利益	185	223	38

◆ 実質業務純益・コア業務純益*



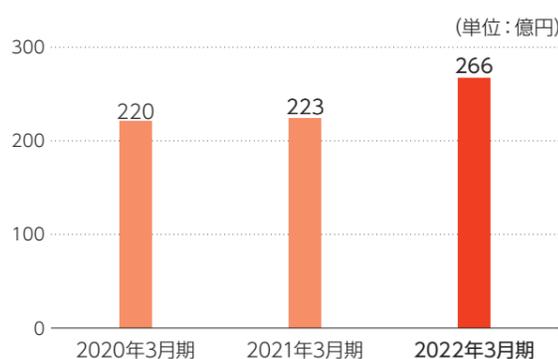
預け金利息の増加や経費の減少等によりコア業務純益は前期比4億円増加しましたが、国債等債券売却損の増加等により実質業務純益は前期並みとなりました。

◆ 経常利益



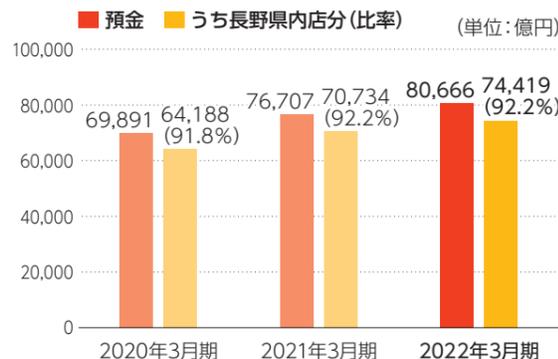
実質業務純益は前期並みでしたが、不良債権処理額の減少や金銭の信託運用益の増加などにより、単体経常利益は313億円(前期比52億円増加)となりました。

◆ 親会社株主に帰属する当期純利益(連結)



当行単体の増益により親会社株主に帰属する当期純利益は266億円(前期比42億円増加)となりました。

◆ 預金



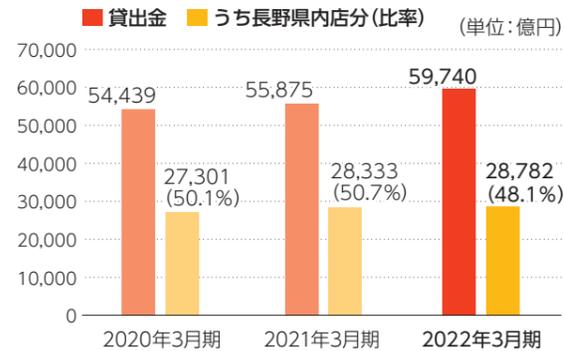
個人預金、公金預金等の増加により8兆666億円(前期末比3,958億円増加)となりました。うち、長野県内店預金は7兆4,419億円(前期末比3,684億円増加)となりました。

用語解説
実質業務純益
 一般企業の営業利益に準じた銀行本来業務の利益

用語解説
コア業務純益
 実質業務純益から債券売却などによる利益を除いた利益

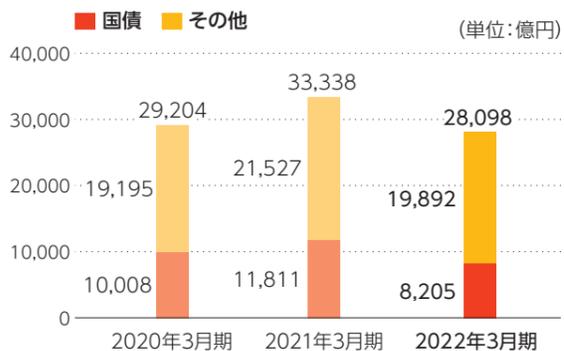
*今年度より団体信用生命保険の配当金を、その他経常収益から役員取引等費用の減少に表示箇所を変更し、過年度にも適用しています。

◆ 貸出金



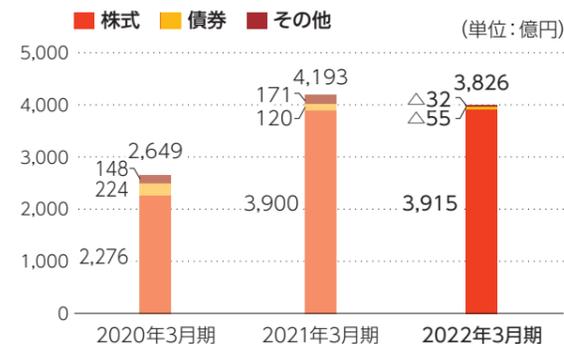
主に中央政府向け貸出金の増加により5兆9,740億円(前期末比3,865億円増加)となりました。うち、長野県内店貸出金は2兆8,782億円(前期末比449億円増加)となりました。

◆ 有価証券残高



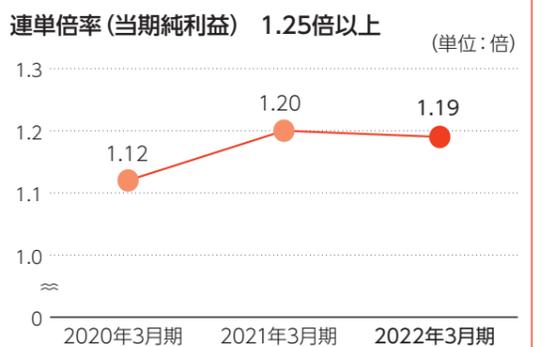
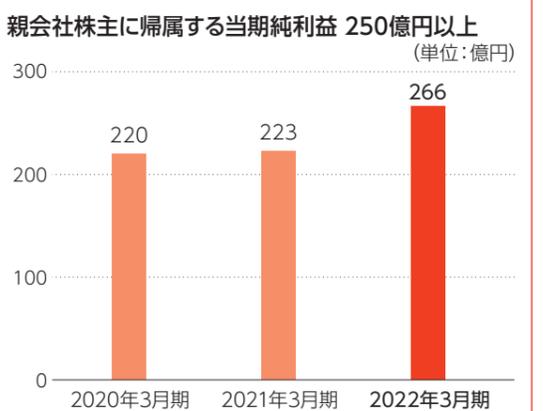
国債や外国証券などの減少により2兆8,098億円(前期末比5,240億円減少)となりました。

◆ 有価証券評価損益

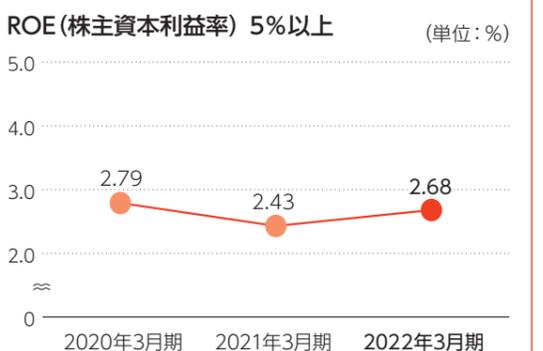


株式評価益は増加しましたが債券やその他の減少により3,826億円(前期末比366億円減少)となりました。

目標とする経営指標(2026年3月)



長期的経営指標



用語解説
連単倍率
 親会社の単体決算の利益に対する連結決算の利益の倍率
 親会社株主に帰属する当期純利益/当期純利益(単体)
ROE(株主資本利益率)
 企業の収益性を測る指標
 当期純利益/自己資本(期首・期末平均)